

## ACA 小岱山～あぶみ&レスキュー訓練

【報告者】I藤

【日時】2018年5月19日(土)

【天候】晴れ

【参加者】A・K、A・I、M 森(想山会)、T 上(フェニックス)、I 藤

《コースタイム》

10:30 駐車場-11:00 人形岩-16:10 終了-16:40 下山駐車場

《 報 告 》

\*\*リードが宙づりになった場合のビレイヤーの自己脱出・救助(ロープ1本の場合)\*\*

(但し、立ち木や支点にスリング+カラビナ2セットが仮定条件にあること)

<手順>

- ① 仮固定(ミュールノット)+オーバーハンド+結束末端部にカラビナもしくはクイックドロワーで抜けないようにバックアップで固定する。
- ② 仮固定の上のロープに丸スリングをマッシャー結びで巻きつけ、スリング+カラビナに連結する。
- ③ ATC 確保器を解除し、ビレイデバイスを手元から外す。(確保器を押さえながらゆっくりと手を離し解くこと!)
- ④ 救助者のテンション(荷重)が、マッシャー側に移り、効いているか確認をする。
- ⑤ もう1セットのスリング+カラビナに連結しながらATC 確保器を解除したロープに半マスト固定。(万一、ずれ落ちないように要注意・・・)
- ⑥ 救助要請をしに行く。
- ⑦ マッシャーのロープをズラしながら(流れ出している方向に送り出す)、救助者をテラスに下ろす。

\*\*宙づりから登り返すクライマーの自己脱出\*\* (ロープ1本の場合)

- ① 足用:手の届く範囲でロープ上部に丸スリング(予め足の入るサイズに長さ調整しておく)+マッシャー結び(プルージック結びよりマッシャーが◎)+環付カラビナでセット・・・スリングはあぶみの要領で立ち込む。
- ② 手用:ビレイループに連結+アッセンダーをセット
- ③ 足用のスリングを上方にスライドさせ、ぶら下がる。テンションがアッセンダーに移る。手用のロープを足用の環付カラビナにワンターンさせる。  
タイプロックだと、ロープを痛め、テンションが抜けるとロープがズレ落ち易いので、注意が必要。  
\*尺取虫のように③を繰り返す。クレバスに墜落した際にも、この方法を使用する。



あぶみトレ



クライマーの自己脱出法



ナチユプロを使った登攀練習